

平成 31 年（2019 年）4 月 16 日

電子図書館サービス「LibrariE & TRC-DL」さらに進化

総務省推奨ガイドライン JIS 規格「AA」準拠 「障害者差別解消法」を踏まえた Web アクセシビリティの強化

株式会社図書館流通センター（代表：石井昭 東京都文京区 以下 TRC）が提供する電子図書館サービス「LibrariE & TRC-DL」はアクセシビリティを強化し、総務省が推奨する Web アクセシビリティの手順書である「みんなの公共サイト運用ガイドライン」に基づいて、JIS X 8341-3:2016※の適合レベル「AA」に準拠しました。また、視覚障害者等にご利用いただく「視覚障害者利用支援サイト（テキスト版サイト）」のユーザインタフェースを拡充することで、より利便性の高いサービス提供を実現しました。

※JIS X 8341-3:2016(高齢者・障害者等配慮設計指針 — 情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス — 第 3 部:ウェブコンテンツ)

法制度上の位置づけ

2016 年に施行された「障害者差別解消法」は、合理的配慮の前提となる環境整備に努めるよう求め、同法基本方針において情報アクセシビリティの向上をその一つとして挙げています。

「障害者差別解消法」を踏まえて改定された「みんなの公共サイト運用ガイドライン」は、公的機関のホームページ等が、高齢者や障害者を含む誰もが利用しやすいものとなるよう、Web アクセシビリティの確保・向上に取り組む際の取組支援を目的として、総務省が作成した手順書です。同ガイドラインは、JIS X 8341-3:2016 が規定する適合レベル「AA」に準拠することを求めています。

今回、電子図書館サービス「LibrariE & TRC-DL」は JIS X 8341-3:2016 に「AA」準拠することで、「みんなの公共サイト 運用ガイドライン」や「障害者差別解消法」を踏まえた Web アクセシビリティ整備を実現しました。くわえて、第三者機関として中央官庁系ホームページの検査で多数の実績を持つ株式会社インフォ・クリエイツに検査を委託し、適合証明書（右図）を取得しました。



JIS X 8341-3:2016 (ISO/IEC 40500:2012)
適合証明書

テキスト版サイトでのユーザインタフェース強化

Web アクセシビリティ整備と併せ、電子書籍閲覧の際のビューアのユーザインタフェースを強化しました。いままでも、視覚障害者や高齢者など音声読み上げによって独力で電子書籍をご利用いただくことは可能でしたが、さらに機能を拡充することでより快適にご利用いただけることを目指しました。

今回の機能強化では、音声読み上げの量を調整し前後へスムーズに移動できる機能や、目次やしおりなどを使いやすくする機能、音声読み上げの読み手の男声、女声を選択できる機能などを追加しました。

<お問い合わせ先>
広報部 尾園清香

タイトル：吾輩は猫である 著者名：夏目漱石 著

再生	停止	ページ送り	ページ戻し	ちよい送り	ちよい戻し
ポジション	目次	しおりをつける	しおりへどぶ	ページジャンプ	ジャンプ元へ戻る
読み上げ速さアップ	読み上げ速さダウン	読み上げ量アップ	読み上げ量ダウン	音量アップ	音量ダウン
読み上げ音声変更	文字サイズアップ	文字サイズダウン	色反転		

左：テキスト版サイト 画面イメージ

吾輩は猫である。名前はまだ無い。

どこで生れたかとんと見当がつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いていた事だけは記憶している。吾輩はここで始めて人間というのを見た。しかもあとで聞くとそれは書生という人間中で一番野蛮な種族であったそうだ。この書生というものは時々我々を捕えて煮て食うという話である。しかしその当時は何という考もなかったから別段恐いとも思わなかった。ただ彼の掌に載せられてスーと持ち上げられた時何だかフワフワした感じがあったばかりである。掌の上で少し落ちついて書生の顔を見たのがいわゆる人間というものの見始であろう。この時妙なものだと思った感じが今でも残っている。第一毛を

主にテキスト版サイトからご利用いただける内容となっておりますが、読み手の選択についてはレイアウト版サイト（通常の電子図書館サイト）からのご利用にも反映しています。

LibrariE & TRC-DL は、障害の有無に関わらず、同じサービスで、同じ読書をお楽しみいただくことを目指し、すべての方々に満足いただける読書体験をお届けできるよう、これからも進化し続けていきます。

電子図書館サービス LibrariE & TRC-DLについて

公共図書館の受託運営業務で No.1 のシェアを持つ TRC は、大日本印刷および大学図書館に強みを持つ丸善雄松堂株式会社のグループ会社 2 社と共同で、2010 年に電子図書館システムの提供を開始しました。2011 年 1 月に 1 号館として導入した堺市立図書館（大阪府）以降、2019 年 3 月現在で 68 自治体（224 館）の公共図書館に導入されています。2014 年からは日本ユニシス株式会社の協力のもと、クラウド型の電子図書館サービスを提供、さらに 2016 年 10 月には新刊小説やライトノベル、話題の実用書などのタイトルを持つ JDLS と資本提携し、2019 年 3 月現在で約 70,000 タイトル（青空文庫除く）を提供しています。【国内導入実績 No.1】(TRC 調べ)の電子図書館サービスです。

※電子図書館について：一般生活者向け電子書籍・雑誌市場は 2,500 億円を突破し、市場が急拡大しています。電子書籍の特徴は、いつでもどこでも読む事ができ、多くの本を持ち歩きする事などが特徴で、図書館においても、いつでもどこでも本の貸出・返却が可能な電子図書館サービスの普及が期待されています。

株式会社図書館流通センターについて

住 所 〒112-8632 東京都文京区大塚三丁目 1 番 1 号

設 立 1979 年 12 月 20 日 代表取締役社長 石井 昭

事業内容 図書館総合支援業務、書誌データベース（TRC MARC）作成・販売、図書館向け装備付図書等の販売、図書館運営業務（業務委託・指定管理者等による図書館の運営・管理）と、データベースから物流、図書館運営までワンストップで図書館総合支援を行っています。TRC は今後も電子図書館サービスをはじめとする図書館向け事業に注力し、「知のインフラ」としての図書館のさらなる発展に貢献していきます。

<お問い合わせ先>

株式会社図書館流通センター

広報部 尾園清香

TEL : 03-3943-7015